

「第2期白岡市文化財保存活用地域計画（案）」に係るパブリックコメントの結果について

生涯学習部 生涯学習課

番号	意見	意見に対する考え方
1	<p>57ページの学校との連携の点ですが、歴史学習支援事業は生徒の印象に深く残る学習効果の高い体験学習であると考えます。扱い方によって、中世、近世、近代、戦時中、戦後、歴史外でも地理、民俗とさまざまな学習が可能かと思えます。</p> <p>私自身は実物に触れることはデジタルにはわからないことを感じる上で非常に重要であり、生徒の興味関心を引き出したり、ひいては文化財の大切さに気づく大切な機会であると考えます。また、身近に文化財という地域の宝がありふれていることを知ること自体が大切なのではないかと思います。しかし、現実には以下のような課題があるため、十分な活用がなされていないのだと思えます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.教員が文化財を活用することの心理的ハードルが高い。 2.そもそも白岡市で活用できる文化財を持っていないと思っている。 3.教師が活用のイメージを持つことができない。 4.学校の教育課程上、多忙で授業が終わるかわからない中、体験学習の時間を捻出することに抵抗があるという意見があった。また、事前打ち合わせ等（そんなにかからないが。）の時間を取れないとも。 5.年度当初に活用の案内が来るが、いろいろな書類に紛れて配られるor回覧されるので、資料が右から左へ流されている現状がある 6.縦割りの学校組織のなかで、「こんな授業をしてみたいな？、こんなことはできるかな」と現場の教員が思っても、直接教育委員会の生涯学習課へ問い合わせるいいものか？と考えてしまい足踏みをしてしまっている？校長を通さないといけない？など <p>改善点</p> <p>授業のイメージプランを複数、過去の出張授業の写真とともにまとめて、年度当初に各学校の社会科主任、生活科主任、総合主任などに配ると良いかも。たぶん文章で書いても読んでもらえない。</p> <p>また、直接相談を受け付ける旨のメッセージを入れておく？</p> <p>実物に触ったり、体験ができることを伝えられると良い。特に小学校は話よりも、体験が重要。</p> <p>失礼なことを書いてしまったとは思いますが、1つの意見として参考にしていただければと思います。学校への訴えかけはなかなか大変であり、これまでもさまざまな形で訴えかけてきたことと思います。しかし学校も多忙であり、行政と連携して文化財教育を進めることができているのが現状です。</p> <p>児童生徒が文化財を知り、守りたい、歴史をもっと知りたいと思えるように、学校と文化財保護行政は密に連携し、郷土愛を育てていくことが大切だと思います。</p>	<p>学校教育との連携につきましては、歴史学習支援事業の実施校からは、大変好評をいただいている反面、活用の広がりが進まないのが現状です。取組の更なる強化を行うとともに、「文化財の把握・保存・活用に関する方針と取組」の「40 学校と連携した教材研究の促進」で挙げましたように、教職員との協働を目指します。</p>
2	<p>観福寺、青雲寺、安楽寺、大徳寺、鬼久保家文書、篠津天王様の山車、柴山諏訪八幡神社、下大崎住吉神社、正傳寺、小久喜のささら、白岡八幡宮、タタラ山遺跡、環状盛土、製鉄炉、中妻遺跡、篠津久伊豆神社、忠恩寺、興善寺、鬼窪八幡宮鰐口、太田資正棟別免許状、濱田家の門構え、白岡駅旧駅舎、新設白岡駅之記、澁谷家、柴山沼、水塚、伝鎌倉街道、田園地帯、掘上田、野牛久伊豆神社、筑後様まつり、篠津天王様の祭礼、中島撫山、資料館常設展示室、生涯学習センター、白岡遺産保存活用市民会議設立総会、文化財防火訓練、歴史資料館企画展の写真を掲載する。</p> <p>「礼助橋」（下大崎）「高台橋」（篠津）を記載する。なお景観として「坂下橋」の堤防桜を保存する記載が必要です。</p> <p>橋の名称で「礼助橋」（下大崎）があり、「血沼」の干拓に貢献した人物から名称がつけられたものと思う。</p> <p>「中世起源の仏像や金石資料はどうでしょうか」の「どうでしょうか」を「どのような物があるか確認します。」に変更する。</p> <p>篠津高台橋周辺の隼人堀堤防に関する記述を願いたい。</p> <p>篠川家の関連資料はないのですか？</p> <p>ささら獅子舞がなぜ小久喜で継続できたのか、理由を記述願いたい。</p>	<p>言い回しにつきましては、修正いたします。</p> <p>写真の掲載と個別資料の内容につきましては、地域計画本文に合わせて必要なもののみを掲載しております。個別資料の写真や内容の詳細につきましては、教育委員会発行の図録等に掲載しております。今後も「文化財の把握・保存・活用に関する方針と取組」の「38 普及用刊行物の計画的発行」に基づき、図録等の継続発行を目指します。</p>
	<p>白岡市の文化財保存活用推進体制の「市民（民間団体と個人）」について</p> <p>篠津の山車保存会は存在しませんか？</p> <p>篠津お囃子保存会・柴山お囃子保存会・白岡お囃子保存会・高岩お囃子保存会は？</p> <p>岡泉の山車保存会は存在しませんか？</p>	<p>市内全ての保存団体を記述するものではなく、特に地域計画内の関連文化財群に係る団体について挙げております。他の保存団体につきましては「文化財所有者（管理者）」として把握しております。</p>

3	<p>観光協会が実施するイベントの内、「白岡めぐり」とかJR東日本に協力して行う「駅からハイキング」では、その対象文化財に「白岡遺産」と冠を付けることは大変PR効果があります。特に、市外の人々が対象である「駅からハイキング」では、白岡市を外部の人々に理解してもらうためには、この冠は絶大な効果があります。</p> <p>この「白岡遺産」の認定は、教育委員会の文化財保護審議会ではなく「白岡市文化財保存活用市民会議」が出来るわけで、今後も観光協会としてはこの「白岡遺産」を増やして頂き活用させて頂きたいと思っています。</p> <p>そして、この「市民会議」の後ろ盾になって居るのが「白岡市文化財保存活用地域計画」です。従って、この「地域計画」が白岡の文化財を保存し街づくりの為に必要活動である事を白岡市民の多くの方々に理解してもらうためにも、今まで以上にましてその活動を活発にしていく必要があると思います。</p>	<p>観光協会やJR東日本実施のイベントの中で「白岡遺産」をPRしていただいていることは、地域計画の趣旨に則っており、有意義なことであります。今後も「文化財の把握・保存・活用に関する方針と取組」の「52文化財周遊コースの設定」や「53周遊コースのセルフガイドの発行」に基づき、市としても文化財周遊に関して検討を進めてまいります。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・全編に渡り、詳しくわかりやすくまとめてあって読みやすかった。中身が充実していて読み応えがあり、勉強になった。 ・素晴らしい白岡の文化財を、もっと知ってもらう必要があると感じた。そのため、多くの人に読んでもらうためには、「要旨」、「レジュメ」とかが用意されていたらより多くの声が聞けて効果的だと思う。 ・課題分析が明確化されている。今後、だれが、いつ、どのように課題解決していくのか、対策を実行推進していくを明らかにしていけたらと考える。今後に期待したい。 ・62ページについて、白岡遺産保存活用市民会議が市観光協会や商工会と連携すること、情報発信などのまちづくりや地域おこしに資するような組織になれることを大いに期待したい。 ・66ページについて、市民学芸員の養成・ちょボラの活用は、後継者の育成にもつながる重要な機会ととらえ力をいれていく必要があると考える。 ・年何回かの養成講座を実施したり、学校および各地域に出前講座をおこない、理解と親睦を深め、理解者の充実が図れたら素晴らしいと思う。 ・「白岡遺産ワークショップ」はとてもよい試みである。参加してみようという人はおそらく定年退職して、余裕ができ、地域の歴史を学び、貢献したいという思いで参加してきているのではないだろうか。まさに、地域のお宝人材なのではないだろうか。そういった年齢層が気軽に参加し共に活動しやすい会になるにはどうしたらよいか、みんなで知恵を絞りりたい。 ・67ページについて、データベース化した文化財を広く発信していけたらよいと、同感です。 ・学校教育においてもデータ化した一覧が表示できれば活用しやすい。担当教員も利用しやすい。 ・「歴史学習支援事業」の活用があまり活発でない状況は、各学校に働きかけて教育計画のなかに組み込んでもらえると理想的です。 ・各学校の管理職や社会科担当の教員との交流も生かし、3・4年生の地域学習にもおおいに文化財活用をはかってもらう。「郷土資料館」「民俗資料室」など菁莪小のように身近にありさらにデータがあれば学校は便利。 	<p>地域計画の要旨や文化財情報の発信につきましては、「文化財の把握・保存・活用に関する方針と取組」の「40普及用刊行物の計画的発行」や「53周遊コースのセルフガイドの発行」で挙げましたように、普及用刊行物やセルフガイドブック等を継続して発行してまいります。</p> <p>6・7ページ「第1期計画の評価」で触れましたとおり、ボランティアの育成は課題であると認識しております。今後、白岡遺産保存活用市民会議との協働の中で、着手してまいります。</p> <p>学校教育との連携につきましては、「歴史学習支援事業」の更なる強化を行うとともに、「文化財の把握・保存・活用に関する方針と取組」の「40学校と連携した教材研究の促進」で挙げましたように、教職員との連携を図り、文化財を活用した地域学習に資する教材研究を促進します。</p>

5	<p>1. モノに痕跡を残さない文化遺産</p> <p>コロナがほぼ終息状態になり2～3年になる。</p> <p>歴史家の加藤陽子氏の歴史を見る目が面白いと思う。加藤氏はスペイン風邪を例として、「スペイン風邪は1918年から3度の流行を繰り返して40万人の死者を出しながら日本人の記憶に痕跡が残っていない」ことに疑問を呈した。感染症に対して歴史家として有名な磯田氏は「感染症は山や河の風景を変えなかったため人々の記憶に残らなかったのではないか」と述べている。加藤氏は、これに加えて「時間」ということをあげている。人間が「感知できる時間間隔」がコロナの感染拡大のスピードに追いついていなかったことも記憶に残らない原因ではないかという。</p> <p>白岡市の中でもコロナは猛威を振るっていた。病院は検査のため多くに人があふれ学校や会社も休みになり、商売も成り立たなくなった。寺院では、まじないや祈祷的な催し物も行われた。しかし、今後数年でこの記憶もなくなっていくのではないかと考えられる。記憶に残る今だからできる10～20年後の市民のための「コロナの流行下の白岡市」という視点と</p>	<p>「コロナ流行下の白岡市」につきましては、「文化財の把握・保存・活用に関する方針と取組」の「6 暮らしの中の文化財調査」に基づき、コロナ禍関係の新聞やモノ資料の収集を進めております。歴史的事象として後世に伝えていくためにも、引き続き、資料収集に努めてまいります。</p>
	<p>2. AIの活用</p> <p>近年ChatGPTなどAIが注目を集めている。白岡遺産の活用にこのAIが利用できるのではないか。</p> <p>例えば、新井白石の肖像画から新井白石を飛び出させたり、白黒の写真をカラー化したり、川の立体交差に舟を浮かべてみたり、白岡駅に機関車を走らせてみたりなど動画の合成ができるのではないか。ほかにも白岡市で発掘された土器を実際に利用している風景の合成動画なども考えられる。縄文人が煮炊きをしている様子など、興味がつきないと思う。</p> <p>このようなAIの利用が文化遺産の活用に役立てるのではないかと思う。また、この分野は進歩が速いので早めの着手がよいと思う。</p>	<p>令和7年8月開催のハンズ・オン・デイ「写真で見る白岡の昭和百年」において、昭和の白黒写真とAIソフトを通してカラー写真に変換したものをスライドショーにして画面に映し、来館者に見ていただきました。引き続き、多方面でAIの文化財普及への活用について検討してまいります。</p>
6	<p>『第2期白岡市文化財保存活用地域計画（案）』を拝見しました。第1期に引き続き、「地域の文化財を地域の手で守る」とのスローガンの下、「水とともにあった人々の暮らし」にまつわる歴史文化の保存活用を図ること、今後の取り組みにも期待します。また、第1期から幕を開けました「白岡遺産」のストーリーは、現在7件ではありますが、今期10年で、新たにどのような物語が紡がれるのかと、たいへん楽しみでございます。一二の期待と願望を申し上げます。</p> <p>① 表紙と副題への期待（表紙）</p> <p>第1期では、表紙に、白石画像、ささら、神山遺跡の金銅仏、前田遺跡のミミズク土偶と、副題でもスローガンの「地域の文化財を地域の手で守る」が掲げられ、序章にもありましたように、市民や地域などの多様な主体が指定・未指定の区別なく総合的に把握する姿勢がよく表れている、そのような印象をうけました。第2期（案）の時点では、表紙はまだ公開されていませんか、冊子を手にとっただけでも、計画の目標や白岡の「水とともにあった人々の暮らし」を感じ取れるようなものを、楽しみに待ちたいと思います。</p> <p>② 地域登録制度の活用（序章、7ページ、及び第2章、32ページ）</p> <p>市登録文化財は、第2章の指定等文化財をみますと、まだ登録はございませんが、令和3年度の法改正で新設され、市では早くも同年度には条例改正で導入されたようですから、第1期の策定時には無いことを加味しても、「白岡遺産」のように1ページを割いても結構なくらいです。「その文化財としての価値を鑑み保存及び活用のための措置」（法182条3項）を想定したものだと聞いており、「白岡遺産」のうちでは、「水」に関する江戸～明治の建造物に未指定のものが多いものですから、近世以降の文化財を保存し活用するうえでも登録を考えてみてよろしいのではないかなと思います。</p> <p>③ 未指定のリスト（第2章、33ページ）</p> <p>第2期では、確認された未指定の文化財のうち、古文書、考古資料、有形民俗文化財が大変増加した印象を受けました。文化財担当の方と市民の皆さまのご尽力のことと思ひ、感謝申し上げます。ただ、第2期（案）では、第1期の解説が省略されましたもので、どのような文化財が確認されているのか、「白岡遺産」の参考ともなりますから、管理者等への十分な配慮とともに、別紙で一覧表のようなものが欲しいものです。</p>	<p>本計画が、第1期計画を継承したものである点を踏まえ、表紙や副題についても検討してまいります。</p> <p>登録文化財につきましては、市登録され次第、地域計画にも反映させてまいります。</p> <p>未指定文化財の内容につきましては、可能な限りで本文中で触れさせていただきます。</p>

※当計画につきましては、今後、文化庁及び関係省庁との協議が控えており、協議の状況によっては、御意見を反映できない場合もございますので御了承くださいますようお願いいたします。